

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	ボランティアや家族との交流は出来てきていると思うが近隣地域との交流が少ない。	保育所や学校等、異世代交流をもち、地域とのつながりを作り利用者の元気を継続する。	保育所の管理者と面談する。予定を聞き、それを元に訪問し交流を重ねていく。(晴れた午前中や運動会の練習、運動会等)また施設への訪問も依頼する。	12 か月
2	27	その人の日々の変化や行動、認知症の状態が明確にされていない。利用者が考える季節や居場所、時間等が不明瞭になり、不安が精神心理症状になりやすくなっている。	。状態を職員全員がタイムリーに把握出来、統一したケアが提供出来るようにする。	リアリティーオリエンテーションを行い、見当識の向上を図る。また朝礼後の時間を使いミニカンファレンスを実施する。記録を明確化し周知徹底を図り、ケアに反映させる。	12 か月
3	19 33	家族との信頼関係が構築されているかどうかかわからず、終末期ケアには至っていない。	気軽に来て貰い、なんでも言ってもらえる関係を作る。その結果がターミナルケアに繋がるようにする。	家族交流会や家族と共の外出やドライブ行いコミュニケーションを図る。また来所時には職員一人一人がきちんと対応できるようにする。職員のターミナルケア研修を行う。	12 か月
4					
5					か月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。